

中部歴まち認定都市事業推進共同宣言

城や神社、仏閣などの歴史的価値の高い建造物や城下町、宿場町などの歴史的なまちなみ、それらの地域で営まれている祭礼行事や工芸品の製造など歴史的文化的資産は、日本国民共有の資産であるとともに、その保存・継承・再生を通じて、我が国固有の文化力の向上、郷土意識の醸成、地域の活性化に大きく貢献するものです。

中部地方には、先人から受け継いできた歴史的文化的資産が数多く残されており、私たち11市1町は、本日、ここ王朝ロマンのまち明和町において、それらの資産を後世へ継承していくことの重要性、さらにはそれらの資産を活用した地域活性化の可能性について改めて認識しました。

そこで、これまで過去のサミットにおいて確認してきた、歴史まちづくりに関する情報発信、広域観光交流、歴史的文化的資産が災害等による被害を受けた場合における相互支援等を強力に推進するため、以下に連携・協力して取り組むことを宣言します。

1. 歴史まちづくり認定都市の魅力発信・ブランド力向上を図るため、歴史まちづくりカードや歴まちロゴの積極的な活用をはじめとした情報発信に取り組むとともに、回遊性の高い観光ルートの構築に努めます。
2. 国内の旅行者だけでなく外国人旅行者にも歴まち認定都市の魅力をわかりやすく伝え理解してもらえるよう、パンフレットや案内看板の多言語化等インバウンド対応力向上に向け取り組みます。
3. 地域固有の歴史的文化的資産を後世に継承するため人材育成などに取り組むとともに、万が一災害等により被害を受けた際には、迅速かつ適切に復旧できるよう「中部歴史まちづくり災害時相互応援の運用指針」に基づく支援体制を強化します。

平成29年10月18日

中部歴史まちづくり認定都市一同

(高山市、亀山市、犬山市、恵那市、美濃市、明和町、
岐阜市、郡上市、名古屋市、伊賀市、岡崎市、三島市)